

平成29年度 地域公共交通に関する自己評価概要（全体）

## 江南市地域公共交通会議

平成19年6月27日設置

平成30年3月 「江南市における地域公共交通の基本的な考え方」策定

# 1.江南市が目指す地域公共交通の姿

## ■ 地域の特性と背景

- ・市内東部から南部にかけて名鉄犬山線が走り、江南駅、布袋駅が存在。
- ・名鉄バスが10路線、大口町コミュニティバスが2路線運行。
- ・市内全域で、いこまいCAR※を運行。計画的な昼間のお出かけに対し、路線バスを補完するものとして市民の足を担う。

- ・第6次総合計画では、以下のとおり拠点を位置付け、中心拠点－地域拠点間や、中心拠点同士を交通ネットワークで結び、住みやすく利便性の高いコンパクトなまちづくりをめざす。

『中心拠点』…江南駅・布袋駅を中心とする区域

『地域拠点』…江南厚生病院～市スポーツプラザ周辺  
曼陀羅寺公園～江南団地周辺

※市民の市内の移動手段として、市が運行するタクシーを利用した交通サービス。

## ■ 公共交通の基本的な方針

- ・コンパクトエリアについては、鉄道や路線バスを中心に市民の足を確保。
- ・コンパクトエリア外については、既存の公共交通をできる限り維持。
- ・市内全域で、路線バス等でカバーできないエリアはいこまいCARを運行。
- ・路線バス・いこまいCARで対応できない場合は、福祉タクシー（福祉施策）や通常のタクシーで市民の移動を担う。
- ・地域主体の新しい公共交通サービスの導入についてルールを定め、支援を行う。

## ■ 取組期間

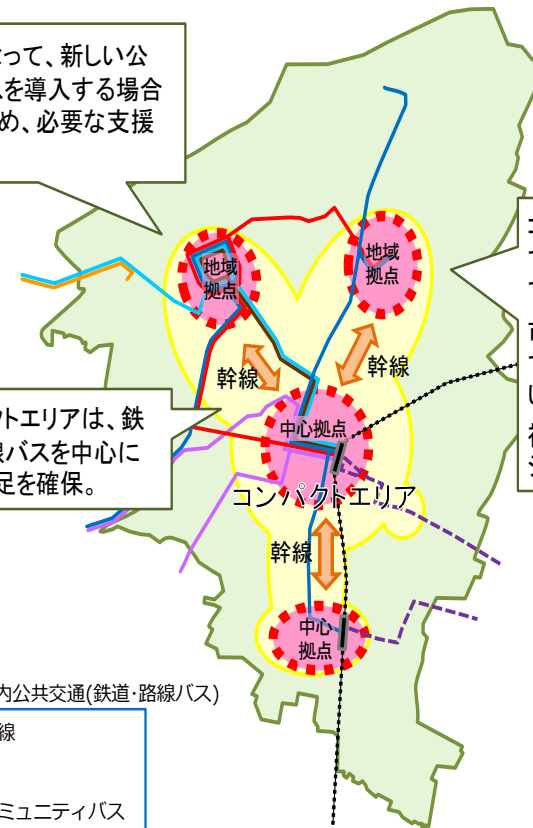
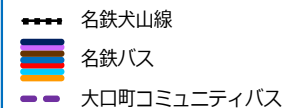
平成30年度～39年度(総合計画と連動)

地域が主体となって、新しい公共交通サービスを導入する場合は、ルールを定め、必要な支援を行う。

コンパクトエリアは、鉄道・路線バスを中心に市民の足を確保。

コンパクトエリア外については、既存の公共交通をできる限り維持する。  
市内全域で、路線バス等でカバーできないエリアはいこまいCARを運行する。  
福祉タクシーや通常のタクシーも足を担う。

平成29年時点の市内公共交通(鉄道・路線バス)



## 政策評価

指標	設定理由と対策	算出方法
市民一人当たりの公共交通利用回数	利用回数の推移について、変動理由を考察。公共交通政策の方向性の確認を行い、事業に反映。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの利用者数（名鉄バスより提供）</li> <li>・いこまいC A Rの利用者数（江南市が集計）</li> <li>・大口町コミュニティバスの江南市内の停留所の利用者数（大口町より提供）</li> </ul> 4月から翌年3月の上記人数を合計して年間の利用回数を算出し、年度末時点の人口で割って算出。 名鉄バスの利用人数は、古知野線（2路線）、江南・病院線、江南団地線（4路線）、木曾川線、一宮・宮田線（2路線）の路線別利用者数の合計とする。 補助路線以外の利用人数は、路線ごとに年間の利用人数をOD調査（起終点調査）1日分の市内停留所の利用者数で按分したものを年間利用者数の推計値として利用。

## 事業評価

評価対象	指標	設定理由と対策	算出方法
路線バスの維持確保(補助路線)	利用者一人当たりの市負担額の推移(路線別評価)	路線別の推移について、変動理由を考察。事業評価で報告し、事業の維持・改善に反映。	下記の補助路線における、当該年度の補助金を、補助金算定期間である10月～翌年9月の利用者数で割って算出。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・江南・病院線</li> <li>・江南団地A線(古知野高校経由)</li> <li>・江南団地D線(ヴィアモール経由)</li> <li>・江南団地E線(団地経由江南厚生病院行)</li> </ul>
いこまいC A Rの維持確保	江南市の市負担額の推移	事業費の変動内容から、変動理由を考察。事業評価で報告し、事業の継続または見直し内容に反映。	該当年度の決算額を利用。

#### ■ 市内を運行する路線バスの維持確保

→江南・病院線、江南団地線の利用啓発チラシ、ポケット版時刻表の作成。【名鉄バス】

・江南駅、布袋駅・江南厚生病院・市役所などで配布。

#### ■ いこまいC A Rの維持確保

→ドライバーによる未登録者への案内。【タクシー事業者】

→運行事業者各社が出席する打合せ会で情報交換を実施。

#### ■ 地域主体の新しい公共交通サービスの支援

→導入ルールを策定。

#### ■ 地域公共交通の利用促進

→市民が集まる市役所 1 階西ロビーで啓発を実施。

・特に新規転入者に向けて、市内の地図に市内の鉄道路線と駅、バス路線（名鉄バス・大口町コミュニティバス）と停留所を示した公共交通マップを掲示。

・名鉄バス・大口町作成の時刻表、路線図などと併せて、手作りの市内主要停留所のバス時刻表を作成して配布。

・いこまいC A Rの利用案内を掲載。



■ 政策評価

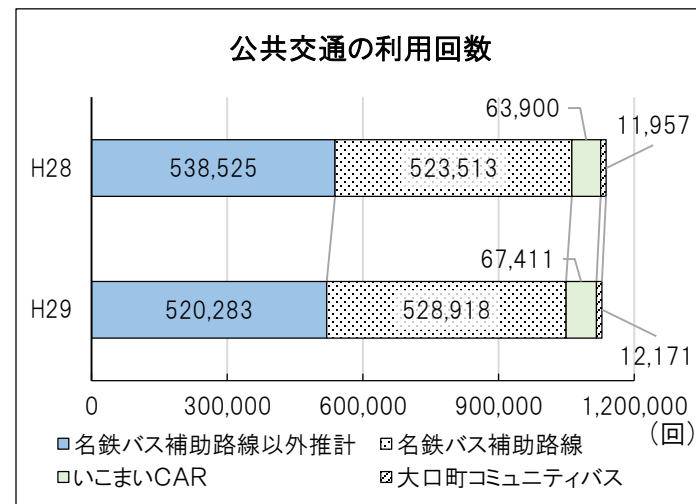
指標	H28
市民一人当たりの公共交通利用回数	11.3

(単位:回/人)

H29	評価
<b>11.2</b>	<b>優</b> 指標維持 +利用維持

【参考】 利用回数内訳

内訳	H28	H29
名鉄バス補助路線以外推計	538,525	520,283
名鉄バス補助路線	523,513	528,918
いこまいCAR	63,900	67,411
大口町コミュニティバス	11,957	12,171
合計	1,137,895	1,128,783
年度末時点の人口 (単位:人)	100,915	100,749



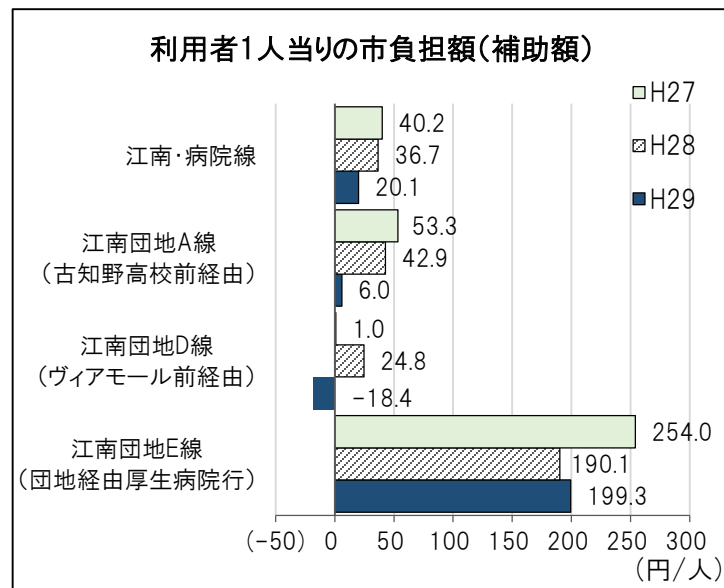
評価に関する考察

- ・ 名鉄バス補助路線以外の推計利用回数が減少したが、補助路線、いこまいCAR、大口町コミュニティバスの利用が増加したことから、市民一人当たりの利用回数は、前年度とほぼ同じ状況となった。
- ・ 名鉄バスの補助路線以外の推計利用回数の減少は、OD調査日における市内停留所の利用者の減少、特に江南団地C線の減少が影響（市外利用を含めた利用回数は増加している）。
- ・ 平成28年度の調査日は火曜日、29年度の調査日は水曜日。曜日の影響の可能性も。
- ・ 大口町コミュニティバスは、南部ルート平日午前、大口町から布袋駅へ向かう便の市内停留所での降車が増加。特に、9時台の便の布袋駅での降車が増。

## ■ 事業評価 (路線バス・補助路線)

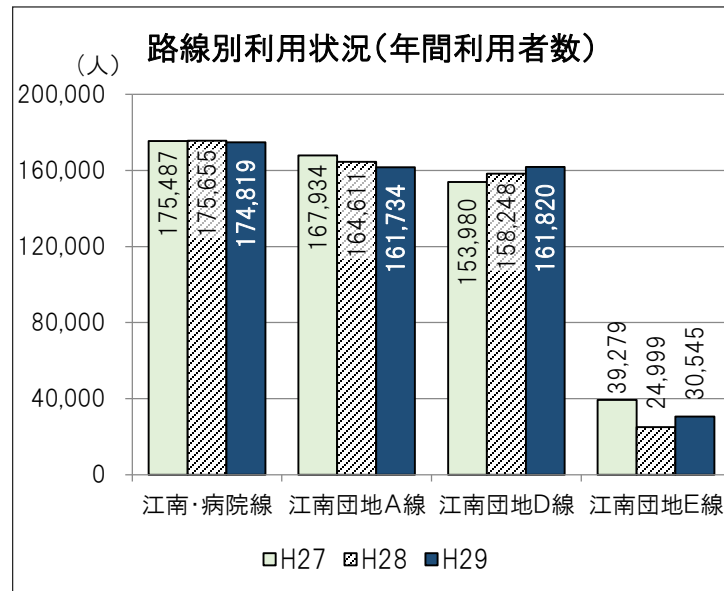
### 利用者一人当たりの市負担額 (年間補助額) の推移 (単位:円/人)

区分	H27	H28	H29	評価
江南・病院線	40.2	36.7	<b>20.1</b>	優 指標減少 +利用維持
江南団地A線 (古知野高校前経由)	53.3	42.9	<b>6.0</b>	優 指標減少 +利用維持
江南団地D線 (ヴィアモール前経由)	1.0	24.8	<b>-18.4</b>	優 指標減少 +利用維持
江南団地E線 (団地経由厚生病院行)	254.0	190.1	<b>199.3</b>	良 指標増加 +利用増加



### 【参考】年間利用者数 (4月～3月)

区分	H27	H28	H29
江南・病院線	175,487	175,655	174,819
江南団地A線 (古知野高校前経由)	167,934	164,611	161,734
江南団地D線 (ヴィアモール前経由)	153,980	158,248	161,820
江南団地E線 (団地経由厚生病院行)	39,279	24,999	30,545



## 4. 具体的取組みに対する評価（3）

### ■ 事業評価（路線バス・補助路線）

#### 評価に関する考察

平成29年度は、補助金算定上の特殊要因のため、平成28年度と比較して補助金全体が減額。

#### 【江南・病院線】

- ・一人当たりの補助額は、28年度と比較して減少したものの、利用者数が減少。直近3年間では減少の傾向。
- ・全体の利用者数を考慮すると変動が少ないと判断。
- ・江南駅－江南厚生病院間は、前年度とほぼ同じ利用状況が維持されていたが、その他の区間が若干減少。

#### 【江南団地A線（古知野高校前経由）】

- ・一人当たりの補助額は、28年度と比較して減少したものの、利用者数が減少。年々減少傾向あり。
- ・今回の大幅な利用者の減少は平成29年4月のダイヤ改正の影響。  
※平日の便数が一日当たり3便減→江南団地D線に振替
- ・利用者は減少したが、減便により一便当たりの利用率は回復。

#### 【江南団地D線（ヴィアモール前経由）】

- ・平成29年度は黒字路線。
- ・ヴィアモール前の利用が多く、利用者数が増加傾向にあり、平成29年4月のダイヤ改正も影響して利用者が増加。  
※平日の便数が一日当たり3便増→江南団地A線から振替
- ・停留所の利便性の向上が可能であれば、利用者増加の見込み。

#### 【江南団地E線（団地経由厚生病院行）】

- ・一人当たりの補助額が最も大きく、28年度から4.8%増。利用者数は増加。
- ・江南駅－江南団地間の利用者、特に江南駅での乗車、滝学園北での降車が増加。
- ・江南団地－江南厚生病院間については大きな変化なし。
- ・平成27年10月に減便実施（1日10→5往復）。江南団地－江南厚生病院間の利用は、その後状況を維持。

## ■ 事業評価 (いこまいCAR)

### 市負担額の推移

	H27	H28
江南市の市負担額	30,644,050	32,002,680



H29
<b>31,931,270</b>

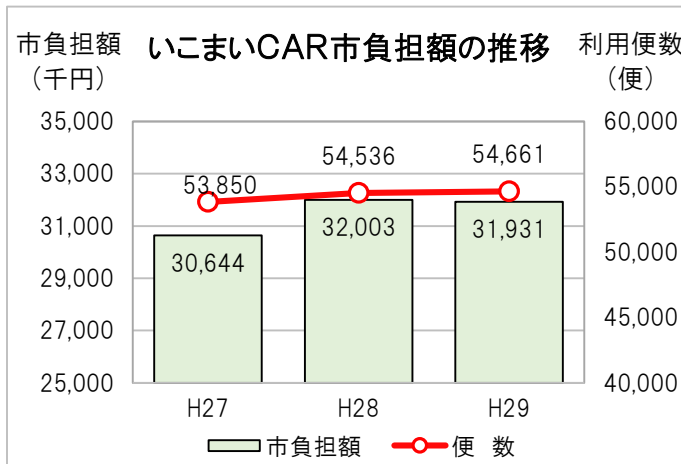
(単位:円)

評価
優 指標維持 +利用増加

### 【参考】 利用便数・利用者数

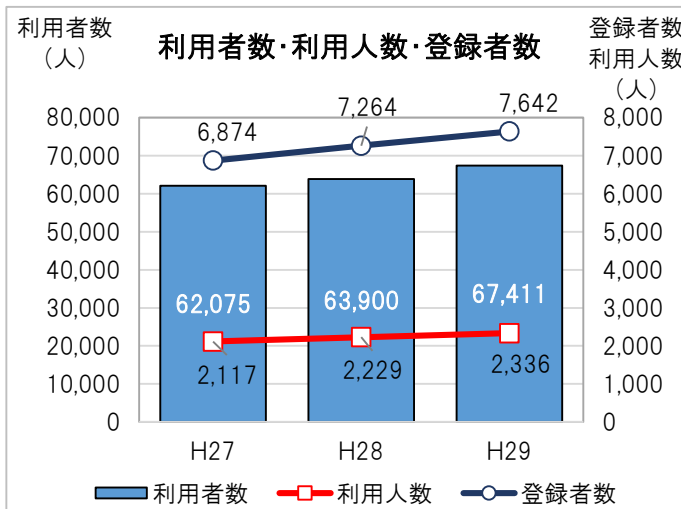
区分	H27	H28	H29
利用便数	53,850	54,536	54,661
利用者数	62,075	63,900	67,411
登録者数	6,874	7,264	7,642
利用人数	2,117	2,229	2,336

(単位:便・人)



### 評価に関する考察

- 市負担額は28年度と比較してほぼ同額だったが、運行便数、利用者数がともに増加。
- 2人以上の相乗りが11,883便で、3,052便増加。
- 全人口に対する登録者の割合が8.7%だが、70歳以上では、年齢別人口の26.8%が登録。
- 登録者と利用人数に差があるものの、直近3年間では同水準の伸びを示している。





課題		対応方針
公共交通政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民一人当たりの公共交通利用回数が減少しないよう、公共交通全体で利用者を確保することが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスやタクシーなど、公共交通に関して、イベントなどで積極的に啓発を実施する。</li> </ul> <p>→<b>具体例</b>：5月に開催の「こどもフェスティバル」にブースを出展。</p>
名鉄バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>特にコンパクトエリアの利用者を維持するため、利便性を向上するための対策が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者と密に連携をして、できる範囲でよりよい運行内容を検討する。</li> <li>停留所付近にバス利用者の駐輪場を整備し、新たな利用者の取り込みを図る。</li> </ul> <p>→<b>具体例</b>：市が管理する松竹広場（江南団地線 ヴィアモール前停留所付近）に名鉄バス利用者用の駐輪場を新設。</p>
いこまいCAR	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の登録率は高いが、全人口に対する登録率は低い。</li> <li>相乗り利用の増加で利用者が増加したが、目的地と別の場所で相乗りする場合、予約を分ける必要があり、利用者の負担感が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市だけではなく、ドライバーによる登録案内を継続して実施。</li> <li>利用者の増加のために、相乗りしやすいルールへの変更を検討。</li> </ul> <p>→<b>具体例</b>：これまでルール上できなかった、立寄り実施を検討。</p>

平成29年度 地域公共交通に関する自己評価概要（経緯）

## 江南市地域公共交通会議

平成19年6月27日設置

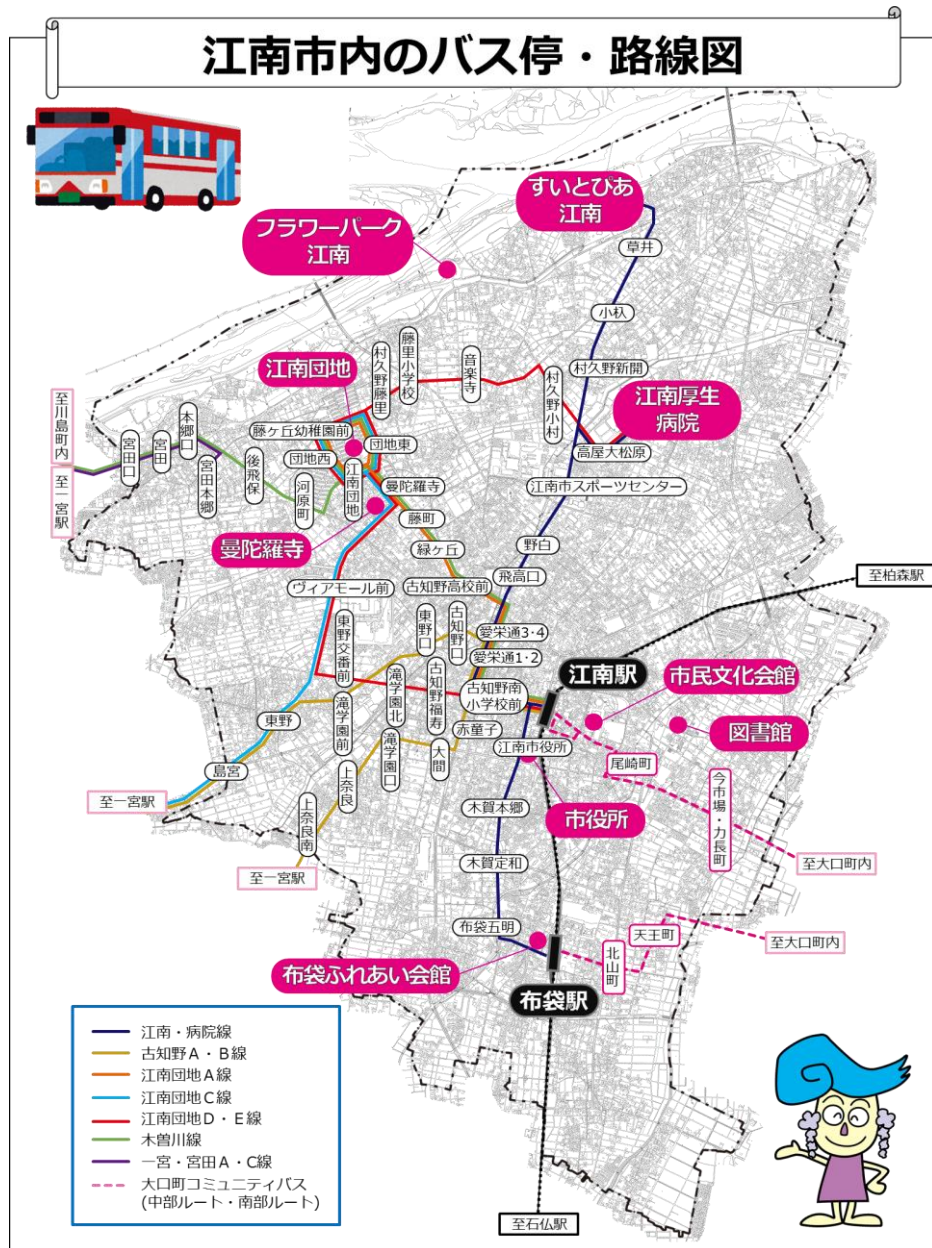
平成30年3月 「江南市における地域公共交通の基本的な考え方」策定

## ■ 市内バス路線・停留所マップの作製

→都市計画基本図に、名鉄犬山線・名鉄バス・大口町コミュニティバスの全路線と駅、停留所を記載した市内バス路線・停留所マップを市職員が作製。

路線変更、停留所の位置変更、名称変更などに柔軟に対応可能。

→市役所 1 階西口ビーにて掲示。



## ■政策評価・事業評価の評価基準

評価は、評価指標の増加、維持、減少の推移とともに、指標以外の利用者数、一便当たりの利用率などの経年推移、指標や利用の変動理由を考察して、次の優、良、可、不可の4段階の評価基準により評価する。

### 指標の評価基準

内容	評価指標	評価基準
政策評価	市民一人当たりの公共交通利用回数	<p>優：指標が増加傾向または維持を示し、全体的な利用状況が増加傾向または維持。</p> <p>良：指標は減少傾向だが、全体的な利用状況が維持されているなど、変動理由の分析から問題なし。</p> <p>可：指標は減少傾向で、全体的に利用状況が悪化するなど、状況を観察する必要あり。</p> <p>不可：減少傾向が続き、即時に方向性の変更が必要。</p>
事業評価 ・路線バスの維持確保(補助路線)	利用者一人当たりの市負担額の推移(路線別)	<p>優：指標は減少傾向または維持を示し、利用が増加傾向または維持。</p> <p>良：指標は増加傾向だが、利用状況の増加や維持など、変動理由の分析から問題なし。</p> <p>可：指標が増加傾向で、利用状況が悪化するなど、状況を観察する必要あり。</p> <p>不可：指標の増加傾向が続き、利用の悪化継続により路線の維持が困難。縮小や撤退など、即時に改善が必要。</p>
事業評価 ・いこまいCARの維持確保	江南市の市負担額の推移	<p>優：指標は減少傾向または維持で、利用が増加または維持。</p> <p>良：指標は増加傾向だが、利用状況が増加。具体的な利用状況の分析から、サービスにより、利用者には良好な生活を提供できている状態。</p> <p>可：指標は増加傾向だが、利用状況が維持または減少。具体的な利用状況の分析から、サービスにより、利用者には良好な生活を提供できている状態。</p> <p>不可：指標の増加傾向が続き、事業の継続が困難。利用者の負担増や制限拡大など、即時に改善が必要。</p>

平成 29 年度

---

**江南市地域公共交通  
(いこまい C A R ・ バス)  
の利用状況**

---

平成 30 年 7 月

都市整備部都市計画課

## 目次

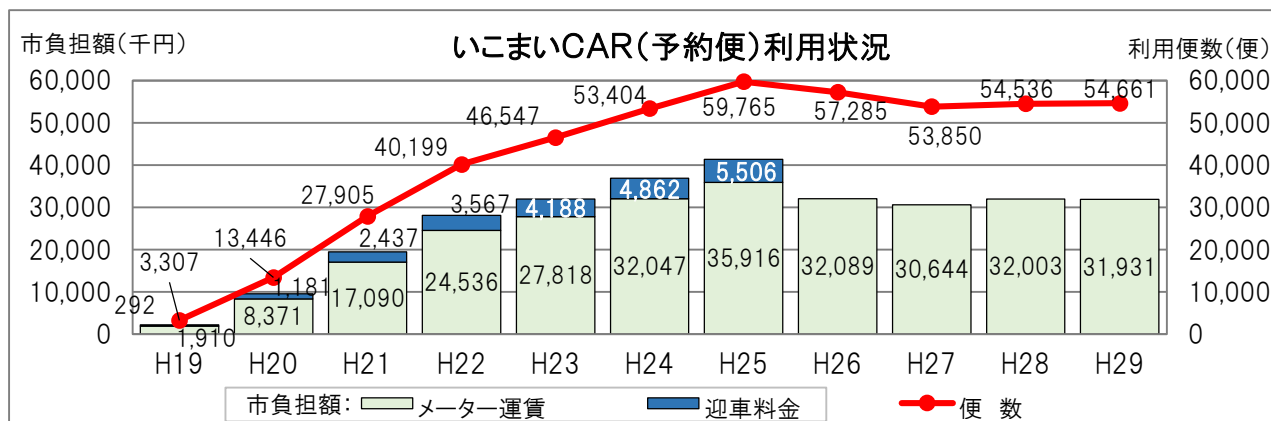
1. いこまい CAR(予約便)利用状況(経年比較)	1
1)市負担額・利用便数の推移	1
2)登録者数・利用人数の推移	1
2. いこまいCAR(予約便)利用状況(平成 29 年度)	2
1)年齢別登録者数・利用人数	2
2)年齢別運行便数割合	2
3)時間帯別利用割合	3
4)曜日別利用割合	3
5)利用目的別割合	4
6)一便当たりの料金別利用割合	4
7)一人当たりの利用回数割合	5
8)地区別登録者割合	5
9)出発地区別利用者割合	6
10)登録住所別利用者割合	7
参考:いこまいCAR地区別位置図	8
3. 名鉄バス(補助路線)利用状況	9
1)利用者数(路線別)	9
2)一便当たり利用者数(路線別)	9
3)利用者一人当たりの市負担額(路線別補助額)	10
4)補助路線区間別補助金額(推計)	11
4. 大口町コミュニティバス(毎日運行便)利用状況	12
1)中部ルート(江南駅行)	12
2)中部ルート(パロー行)	13
3)南部ルート(布袋駅行)	14
4)南部ルート(外坪松山行)	15
5. 江南市内のバス路線・停留所	16

# 1. いこまいCAR（予約便）利用状況（経年比較）

## 1) 市負担額・利用便数の推移

市負担額・利用便数とも、平成25年度までは増加していたが、平成26年度の料金改定<sup>※1</sup>後は、一時減少し、同程度の利用状況が続いている。

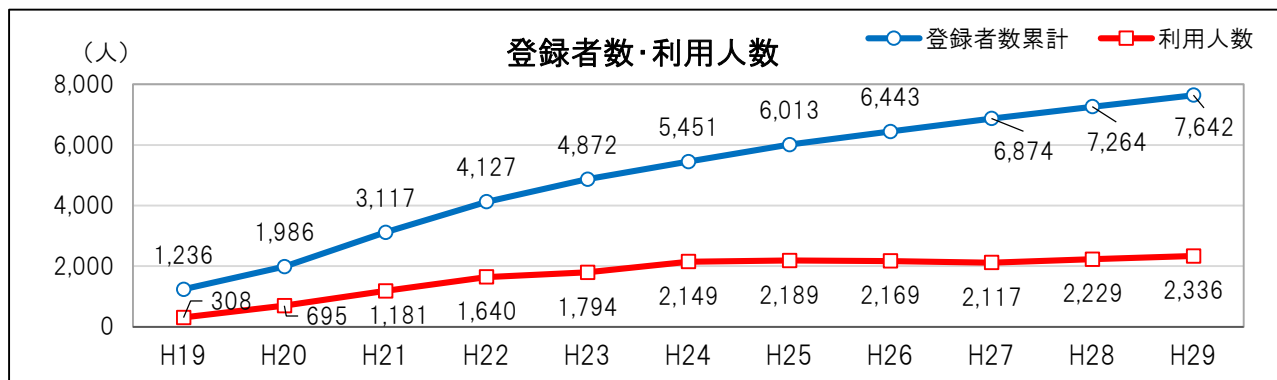
平成29年度は前年と比較し、負担額は0.2%の減、便数は0.3%の増と。ほぼ同じ水準となった。



※1 H26 料金改定概要：迎車料金を市負担→利用者負担、利用者負担を100円未満切捨て→10円未満切捨てに変更。

## 2) 登録者数・利用人数の推移

平成29年度末の登録者数は、7,642人で、前年度と比較して5.2%の増、利用人数は2,336人で、4.8%の増となり、登録者数、利用者数とも同水準の伸び率を示している。



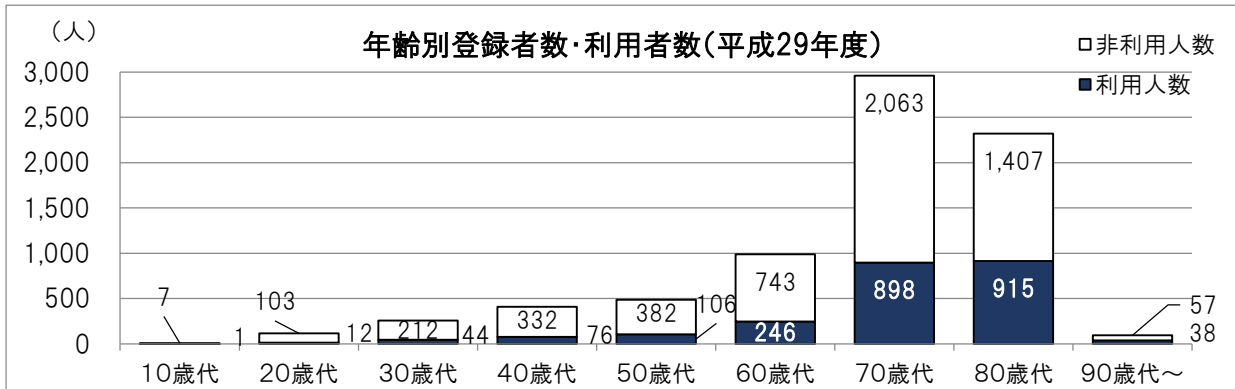
## ○登録者数・利用状況

年度	(人)		利用者数(人)	便数(便)	利用率(人/便)	市負担額(円)		1便当りの額(円)			
	登録者数	利用人数				うちメーター運賃	うち迎車料金	利用料金分	市負担分	合計	
H19	1,236	308	3,887	3,307	1.18	2,202,240	1,910,410	291,830	485	666	1,151
H20	1,986	695	17,351	13,446	1.29	9,552,140	8,371,070	1,181,070	534	710	1,244
H21	3,117	1,181	37,590	27,905	1.35	19,526,940	17,089,790	2,437,150	521	700	1,221
H22	4,127	1,640	51,348	40,199	1.28	28,103,170	24,535,980	3,567,190	517	699	1,216
H23	4,872	1,794	54,692	46,547	1.17	32,006,190	27,818,160	4,188,030	501	688	1,189
H24	5,451	2,149	63,550	53,404	1.19	36,908,650	32,047,090	4,861,560	501	691	1,192
H25	6,013	2,189	70,911	59,765	1.19	41,421,510	35,916,010	5,505,500	499	693	1,192
H26	6,443	2,169	67,932	57,285	1.19	32,088,610	32,088,610	0	651	560	1,211
H27	6,874	2,117	62,075	53,850	1.15	30,644,050	30,644,050	0	661	569	1,230
H28	7,264	2,229	63,900	54,536	1.17	32,002,680	32,002,680	0	682	587	1,269
H29	7,642	2,336	67,411	54,661	1.23	31,931,270	31,931,270	0	678	584	1,262
計			560,647	464,905	1.21	296,387,450	274,355,120	22,032,330	-	-	-

## 2. いこまいCAR（予約便）利用状況（平成29年度）

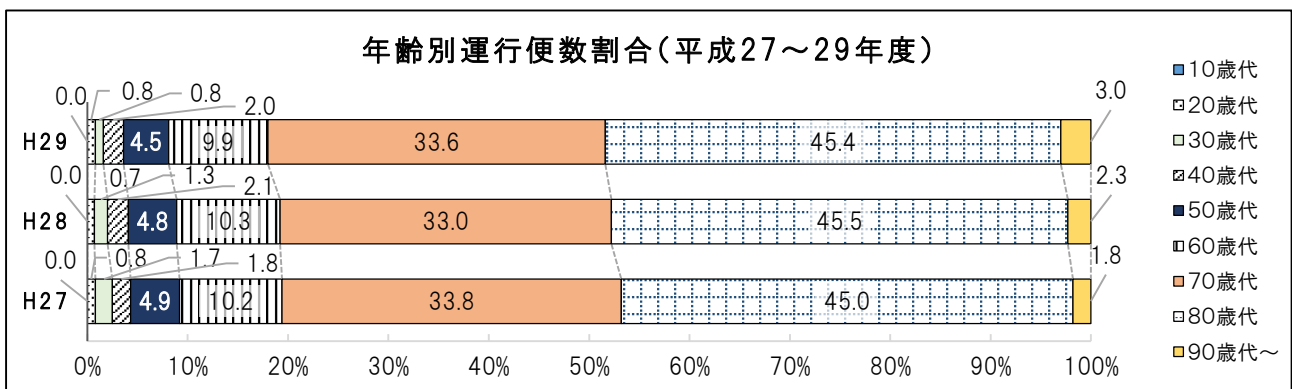
### 1) 年齢別登録者数・利用人数

平成29年度末の登録者数は7,642名、うち70歳代が38.8%、80歳代が30.4%と突出して高くなっており、登録者全体の約7割が70歳以上の高齢者となっている。



### 2) 年齢別運行便数割合

平成29年度は、70歳代が33.6%、80歳代が45.4%と利用の大半を占めている。全体の約90%が65歳以上の運行となっており、直近3年間で、年代別の構成の変化がほぼ見られない。



### 年齢別登録者数・利用人数累計（平成30年3月31日現在）

年代	登録者数			登録者割合(%)	人口(人)	人口に対する登録者割合(%)
	登録者(人)	利用人数(人)	利用人数割合(%)			
10歳代	8	1	12.5	0.1	5,387	0.1
20歳代	115	12	10.4	1.5	9,595	1.2
30歳代	256	44	17.2	3.4	11,061	2.3
40歳代	408	76	18.6	5.3	16,141	2.5
50歳代	488	106	21.7	6.4	12,604	3.9
60歳代	989	246	24.9	12.9	12,602	7.8
70歳代	2,961	898	30.3	38.8	12,616	23.5
80歳代	2,322	915	39.4	30.4	6,280	37.0
90歳代～	95	38	40.0	1.2	1,160	8.2
計	7,642	2,336	30.6	100.0	87,446	8.7

### 年齢別運行便数

年齢	H29		H27	H28
	便数(便)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
10歳代	2	0.0	0.0	0.0
20歳代	436	0.8	0.8	0.7
30歳代	433	0.8	1.7	1.3
40歳代	1,104	2.0	1.8	2.1
50歳代	2,476	4.5	4.9	4.8
60歳代	5,436	9.9	10.2	10.3
70歳代	18,340	33.6	33.8	33.0
80歳代	24,794	45.4	45.0	45.5
90歳代～	1,640	3.0	1.8	2.3
計	54,661	100.0	100.0	100.0
～64歳	6,453	11.8	12.4	12.3
65歳～84歳	37,639	68.9	72.4	69.8
85歳～	10,569	19.3	15.2	17.9
計	54,661	100.0	100.0	100.0

平成30年3月31日現在の人口…100,749人

15歳未満は登録不可であるため10歳代には10～14歳は含まない

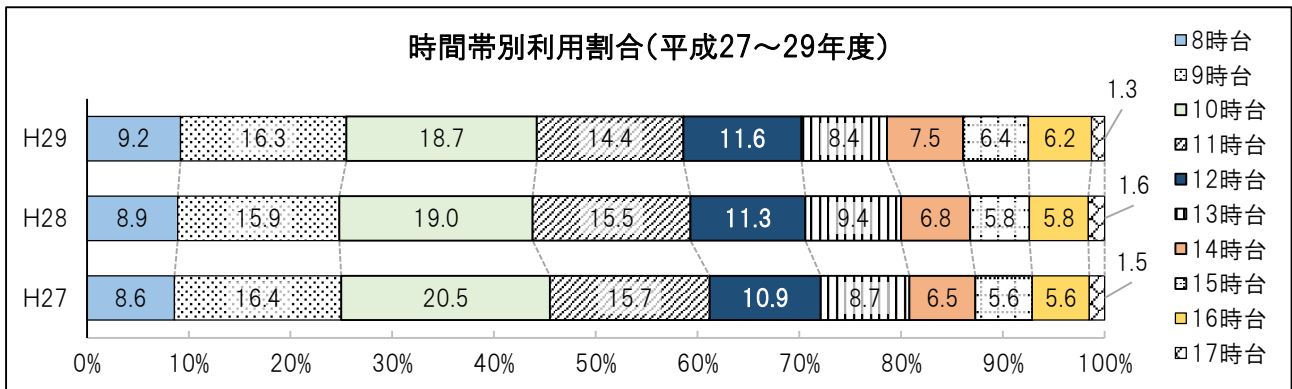
15歳未満の人口…13,303人



### 3) 時間帯別利用割合

朝8時台から徐々に高くなり、10時台でピークを迎え、その後は減少する傾向にある。

平成29年度は、8時台から12時台までの利用が合計で70.2%となり、午前中の利用者が多いものの、平成27年度から29年度にかけて、午後の利用率が2.6ポイント増加している。

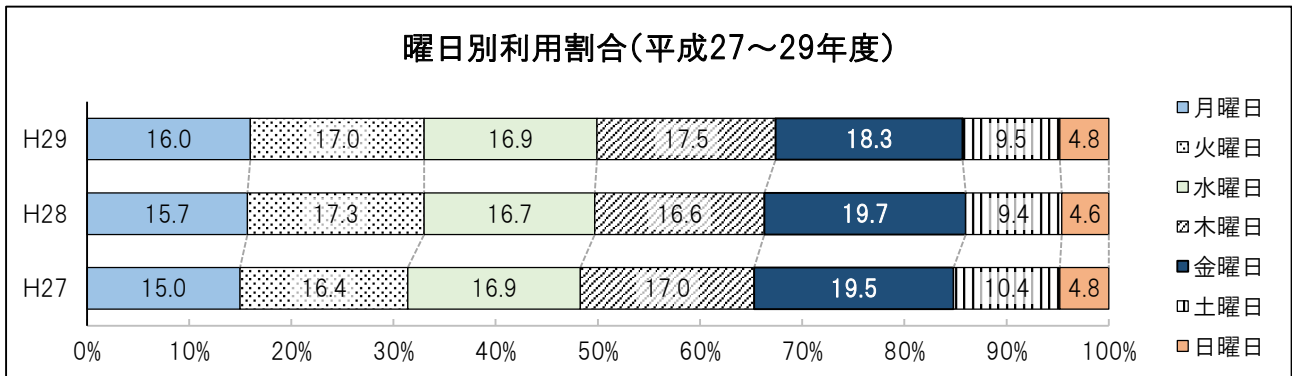


### 4) 曜日別利用割合

月曜から金曜日の平日の利用がどの曜日にもほぼ同じ水準で高く、金曜日が最も高くなっている。

土曜・日曜日の休日の利用は低く、特に日曜日の利用が低い。

平成27年度から29年度にかけて金曜日の利用率が1.2ポイント減少し、月曜日の利用率が1.0ポイント増加している。



#### 時間帯別利用状況

時間帯	H29		H27	H28
	利用者数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
8時台	6,221	9.2	8.6	8.9
9時台	10,976	16.3	16.4	15.9
10時台	12,608	18.7	20.5	19.0
11時台	9,705	14.4	15.7	15.5
12時台	7,816	11.6	10.9	11.3
13時台	5,694	8.4	8.7	9.4
14時台	5,044	7.5	6.5	6.8
15時台	4,287	6.4	5.6	5.8
16時台	4,159	6.2	5.6	5.8
17時台	901	1.3	1.5	1.6
計	67,411	100.0	100.0	100.0

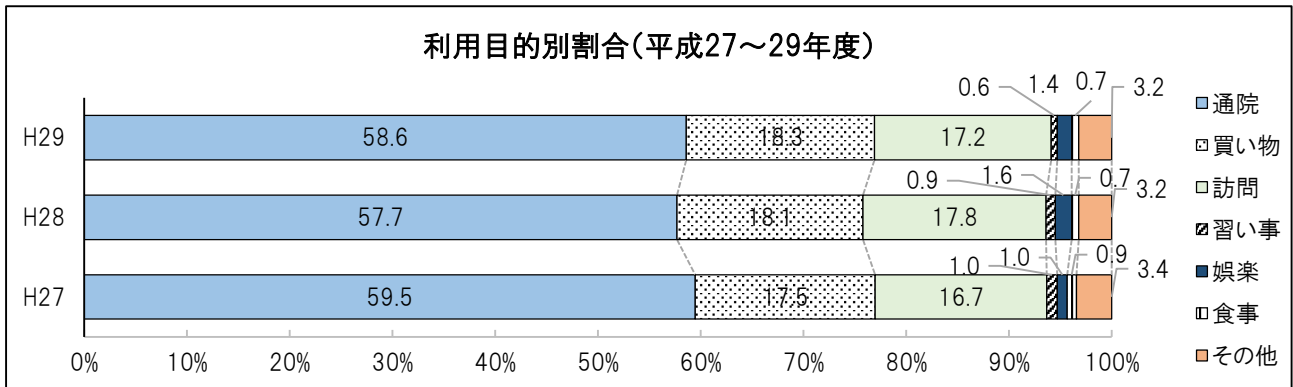
#### 曜日別利用状況

曜日	H29		H27	H28
	利用者数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
月曜日	10,777	16.0	15.0	15.7
火曜日	11,502	17.0	16.4	17.3
水曜日	11,385	16.9	16.9	16.7
木曜日	11,798	17.5	17.0	16.6
金曜日	12,332	18.3	19.5	19.7
土曜日	6,393	9.5	10.4	9.4
日曜日	3,224	4.8	4.8	4.6
計	67,411	100.0	100.0	100.0

## 5) 利用目的別割合

平成29年度は、通院が58.6%、買い物が18.3%、訪問が17.2%で、94.1%を占める。

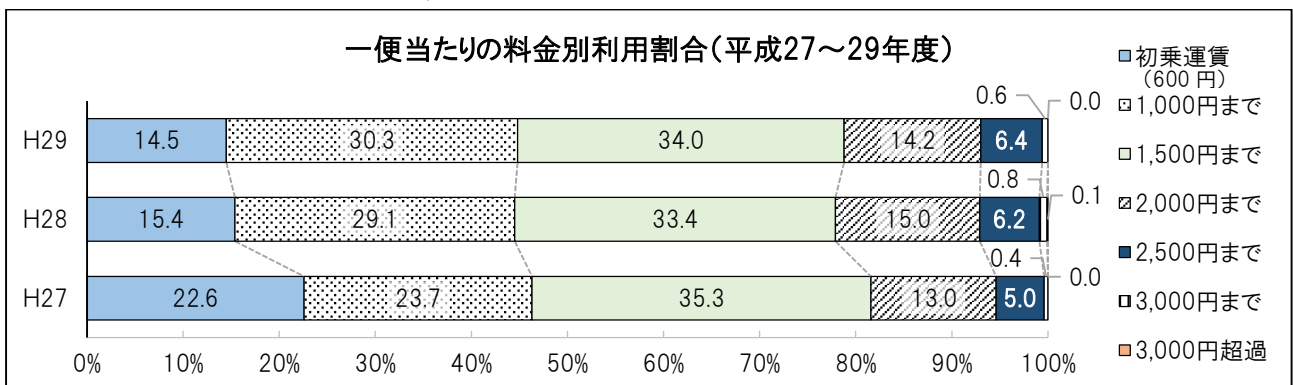
直近3年間でもほぼ同じ構成となっており、半数以上が通院目的でいこまいCARを利用している。



## 6) 一便当たりの料金別利用割合

平成29年度は、初乗運賃(600円)までの利用が14.5%、1,000円までの利用を含めると、約半数の44.8%であり、93%が2,000円までの利用となっている。また、1,000~1,500円の区分の利用が最も高く、34.0%となっている

平成28年1月に初乗運賃が改定<sup>※2</sup>されたため、平成27年度から平成28年度にかけて、初乗運賃の利用が7.2ポイント減少し、1,000円までの区分が5.4ポイント増加している。



※2 H28 運賃改定概要: 初乗運賃を 1.5 km 700 円→1.2 km 600 円に変更。

### 利用目的別利用状況

利用目的	H29		H27	H28
	利用者数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
通院	39,465	58.6	59.5	57.7
買い物	12,360	18.3	17.5	18.1
訪問	11,612	17.2	16.7	17.8
習い事	415	0.6	1.0	0.9
娯楽	928	1.4	1.0	1.6
食事	451	0.7	0.9	0.7
その他	2,180	3.2	3.4	3.2
計	67,411	100.0	100.0	100.0

※その他: 市役所、郵便局・銀行、法要、スポーツ、旅行等

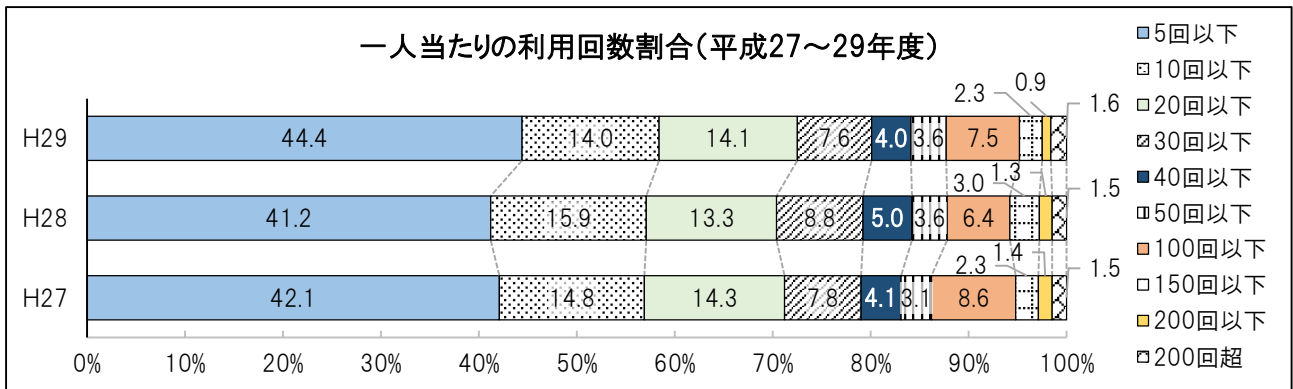
### 料金別利用状況

メーター料金	H29			H27	H28
	件数(件)	割合(%)	市負担額(円)	割合(%)	割合(%)
初乗運賃	7,948	14.5	2,373,840	22.6	15.4
1,000円まで	16,543	30.3	6,853,280	23.7	29.1
1,500円まで	18,576	34.0	11,677,940	35.3	33.4
2,000円まで	7,763	14.2	6,725,300	13.0	15.0
2,500円まで	3,478	6.4	3,821,080	5.0	6.2
3,000円まで	327	0.6	437,890	0.4	0.8
3,000円超過	26	0.0	41,940	0.0	0.1
計	54,661	100.0	31,931,270	100.0	100.0

### 7)一人当たりの利用回数割合

平成29年度は、5回以下の利用が44.4%で、10回以下の利用を含めると58.4%と半数以上が年間10回以下の利用となっている。

平成27年度から29年度にかけて、5回以下の利用が2.3ポイント増加している。

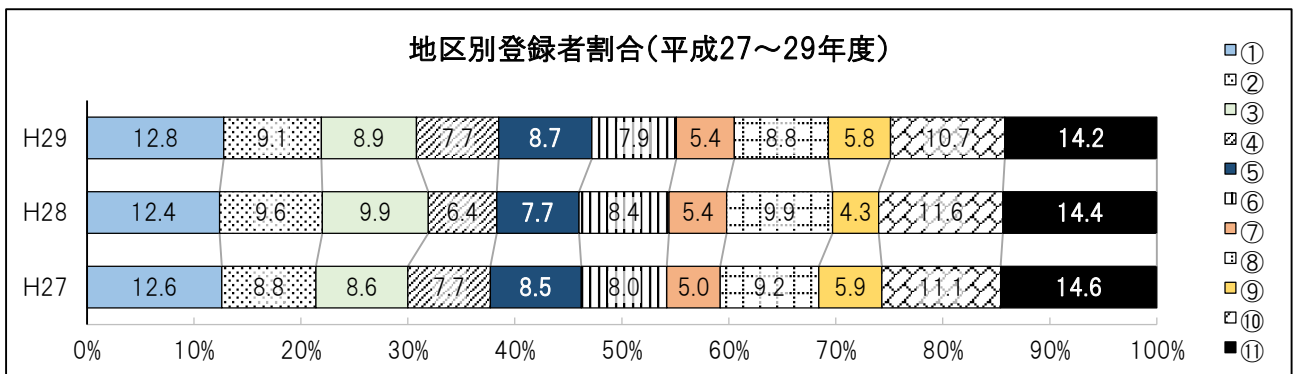


### 一人当たりの利用回数

回数	H29		H27		H28	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
5回以下	1,038	44.4	891	42.1	919	41.2
10回以下	327	14.0	313	14.8	355	15.9
20回以下	330	14.1	302	14.3	296	13.3
30回以下	178	7.6	166	7.8	195	8.8
40回以下	94	4.0	86	4.1	112	5.0
50回以下	83	3.6	65	3.1	81	3.6
100回以下	175	7.5	183	8.6	143	6.4
150回以下	54	2.3	50	2.3	67	3.0
200回以下	21	0.9	30	1.4	29	1.3
200回超	36	1.6	31	1.5	32	1.5
計	2,336	100.0	2,117	100.0	2,229	100.0

### 8)地区別登録者割合

平成29年度は、⑪宮田・後飛保・前飛保・松竹・河野地区が14.2%と最も高く、次いで①古知野・赤童子・大間が12.8%となっているが、人口に対する登録者割合をみると、⑧力長・今市場・安良・寄木・大海道・木賀東地区が9.5%と最も高く、①古知野・赤童子・大間地区は地区人口が多い影響で6.9%と低い状況となっている。



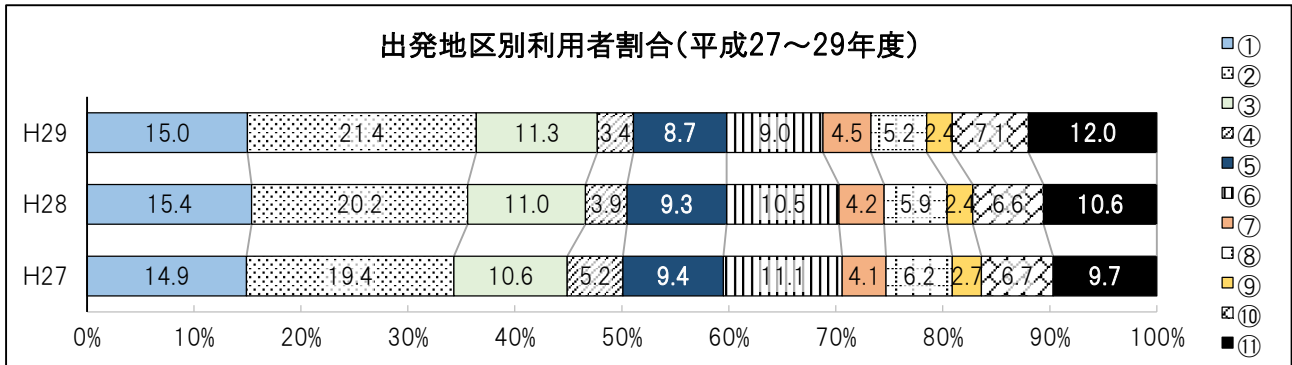
地区別登録者数

No.	地区	H29					H27	H28	
		登録者 (人)	割合 (%)	利用人数 (人)	割合 (%)	人口 (人)	人口に対する 登録者割合 (%)	登録者 割合 (%)	登録者 割合 (%)
①	古知野・赤童子・大間	976	12.8	281	12.0	14,229	6.9	12.6	12.4
②	高屋・野白・飛高	700	9.1	217	9.3	12,497	5.6	8.8	9.6
③	北野・尾崎・石枕・宮後・山王・前野	679	8.9	213	9.1	8,409	8.1	8.6	9.9
④	般若・中般若・和田・勝佐・山尻・江森	587	7.7	158	6.8	7,992	7.3	7.7	6.4
⑤	上奈良・東野・島宮	665	8.7	195	8.3	8,535	7.8	8.5	7.7
⑥	布袋・布袋下山・木賀・木賀本郷・中奈良・五明・小郷	602	7.9	196	8.4	9,180	6.6	8.0	8.4
⑦	天王・北山・南山・小折・小折本・小折東・田代・曾本	414	5.4	122	5.2	5,030	8.2	5.0	5.4
⑧	力長・今市場・安良・寄木・大海道・木賀東	672	8.8	222	9.5	7,049	9.5	9.2	9.9
⑨	草井・鹿子島・小杣・小脇・慈光堂	445	5.8	109	4.7	5,314	8.4	5.9	4.3
⑩	村久野・宮田神明・藤ヶ丘	814	10.7	277	11.9	10,334	7.9	11.1	11.6
⑪	宮田・後飛保・前飛保・松竹・河野	1,088	14.2	346	14.8	12,180	8.9	14.6	14.4
計		7,642	100.0	2,336	100.0	100,749	7.6	100.0	100.0

9) 出発地区別利用者割合

平成29年度は、②高屋・野白・飛高地区が最も高く、21.4%、次いで、①古知野・赤童子・大間地区が15.0%となっている。

②高屋・野白・飛高地区に江南厚生病院が、①古知野・赤童子・大間地区に江南駅や、病院、商業施設などの都市機能増進施設が多数存在していることから、利用者が多い状況となっている。



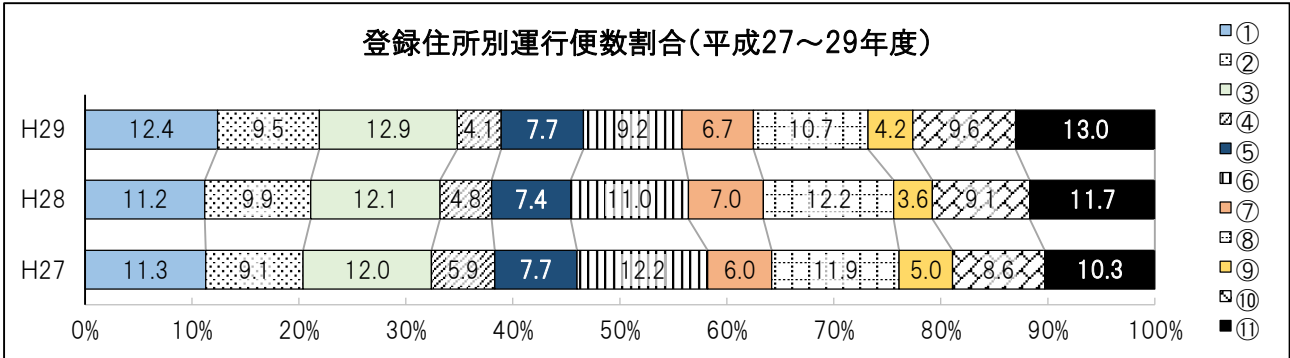
出発地区別利用者数

No.	地区	H29				H27	H28
		利用者 (人)	割合 (%)	運行 (便)	利用率 (人/便)	利用者 割合 (%)	利用者 割合 (%)
①	古知野・赤童子・大間	10,084	15.0	8,111	1.24	14.9	15.4
②	高屋・野白・飛高	14,412	21.4	11,206	1.29	19.4	20.2
③	北野・尾崎・石枕・宮後・山王・前野	7,627	11.3	6,668	1.14	10.6	11.0
④	般若・中般若・和田・勝佐・山尻・江森	2,295	3.4	1,860	1.23	5.2	3.9
⑤	上奈良・東野・島宮	5,870	8.7	4,801	1.22	9.4	9.3
⑥	布袋・布袋下山・木賀・木賀本郷・中奈良・五明・小郷	6,060	9.0	4,987	1.22	11.1	10.5
⑦	天王・北山・南山・小折・小折本・小折東・田代・曾本	3,013	4.5	2,565	1.17	4.1	4.2
⑧	力長・今市場・安良・寄木・大海道・木賀東	3,506	5.2	2,970	1.18	6.2	5.9
⑨	草井・鹿子島・小杣・小脇・慈光堂	1,645	2.4	1,348	1.22	2.7	2.4
⑩	村久野・宮田神明・藤ヶ丘	4,808	7.1	3,818	1.26	6.7	6.6
⑪	宮田・後飛保・前飛保・松竹・河野	8,091	12.0	6,327	1.28	9.7	10.6
計		67,411	100.0	54,661	1.23	100.0	100.0

### 10)登録住所別運行便数割合

平成29年度は、⑪宮田・後飛保・前飛保・松竹・河野地区が13.0%と最も高く、次いで、③北野・尾崎・石枕・宮後・山王・前野地区が12.9%となっている。

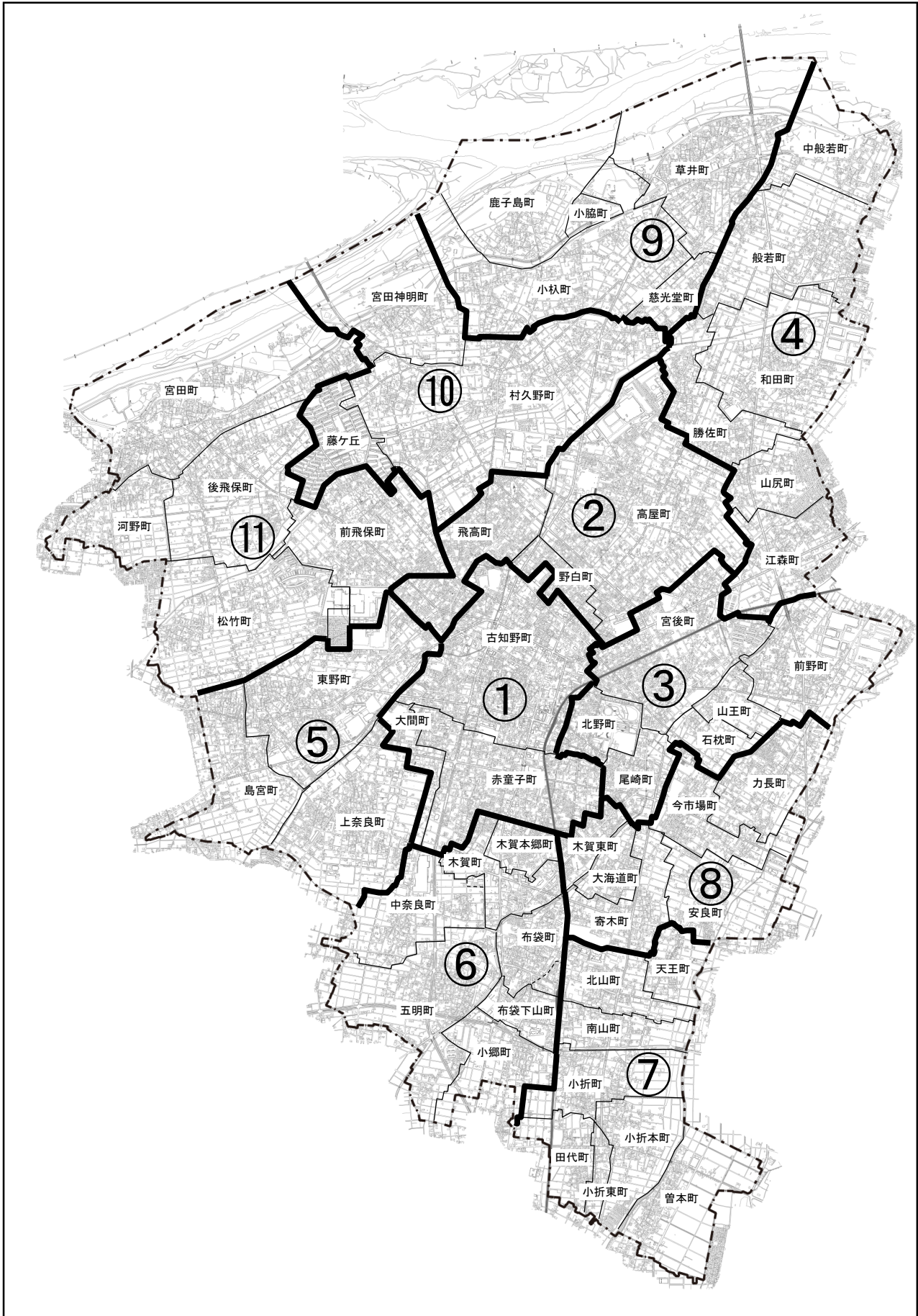
平成27年度から29年度にかけて、⑪宮田・後飛保・前飛保・松竹・河野地区が2.7ポイント増加しており、⑥布袋・布袋下山・木賀・木賀本郷・中奈良・五明・小郷地区が3.0ポイント減少している。



### 登録住所別利用者数

No.	地区	H29			H27	H28	
		利用者(人)	運行(便)	割合(%)	利用率(人/便)	便数割合(%)	便数割合(%)
①	古知野・赤童子・大間	8,675	6,772	12.4	1.28	11.3	11.2
②	高屋・野白・飛高	6,163	5,182	9.5	1.19	9.1	9.9
③	北野・尾崎・石枕・宮後・山王・前野	8,198	7,051	12.9	1.16	12.0	12.1
④	般若・中般若・和田・勝佐・山尻・江森	2,919	2,270	4.1	1.29	5.9	4.8
⑤	上奈良・東野・島宮	5,467	4,213	7.7	1.30	7.7	7.4
⑥	布袋・布袋下山・木賀・木賀本郷・中奈良・五明・小郷	5,941	5,012	9.2	1.19	12.2	11.0
⑦	天王・北山・南山・小折・小折本・小折東・田代・曾本	4,468	3,672	6.7	1.22	6.0	7.0
⑧	力長・今市場・安良・寄木・大海道・木賀東	7,024	5,848	10.7	1.20	11.9	12.2
⑨	草井・鹿子島・小杵・小脇・慈光堂	2,725	2,304	4.2	1.18	5.0	3.6
⑩	村久野・宮田神明・藤ヶ丘	6,758	5,239	9.6	1.29	8.6	9.1
⑪	宮田・後飛保・前飛保・松竹・河野	9,073	7,098	13.0	1.28	10.3	11.7
計		67,411	54,661	100.0	1.23	100.0	100.0

参考:いこまいCAR地区別位置図

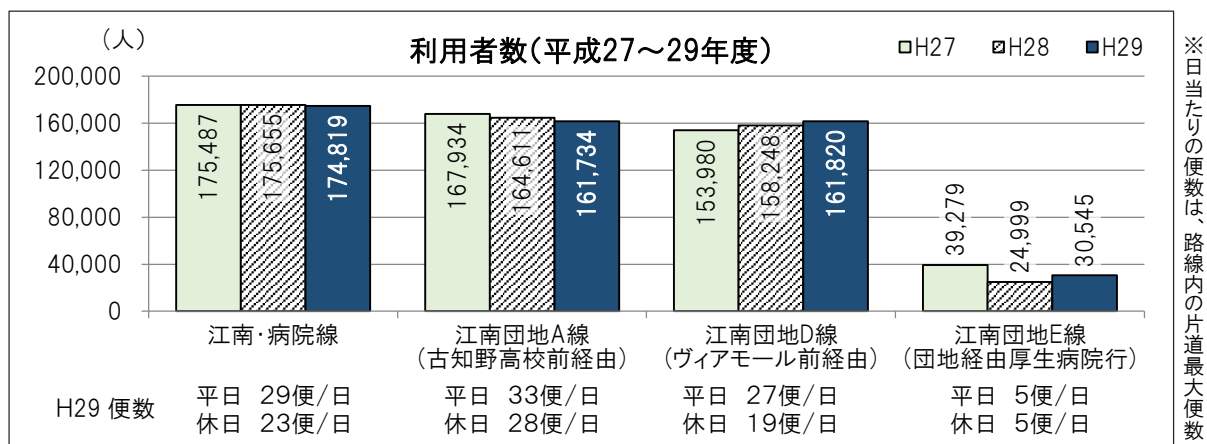


### 3. 名鉄バス（補助路線）利用状況

#### 1) 利用者数(路線別)

平成29年度は、江南・病院線で174,819人、江南団地A線で161,734人、江南団地D線で161,820人、江南団地E線で30,545の利用があり、それぞれ前年と比較して、江南・病院線で836人の減、江南団地A線で2,877人の減、江南団地D線で3,572人の増、江南団地E線で5,546人の増となった。

平成27年10月の江南団地E線のダイヤ改正<sup>※3</sup>で1日当たりの便数を半減したことから、平成27年度から28年度にかけて、利用者数は14,280人の減となっているが、平成29年4月1日のダイヤ改正<sup>※4</sup>の影響により、平成28年度から29年度にかけて江南団地D線・E線の利用が増加した。



※日当たりの便数は、路線内の片道最大便数

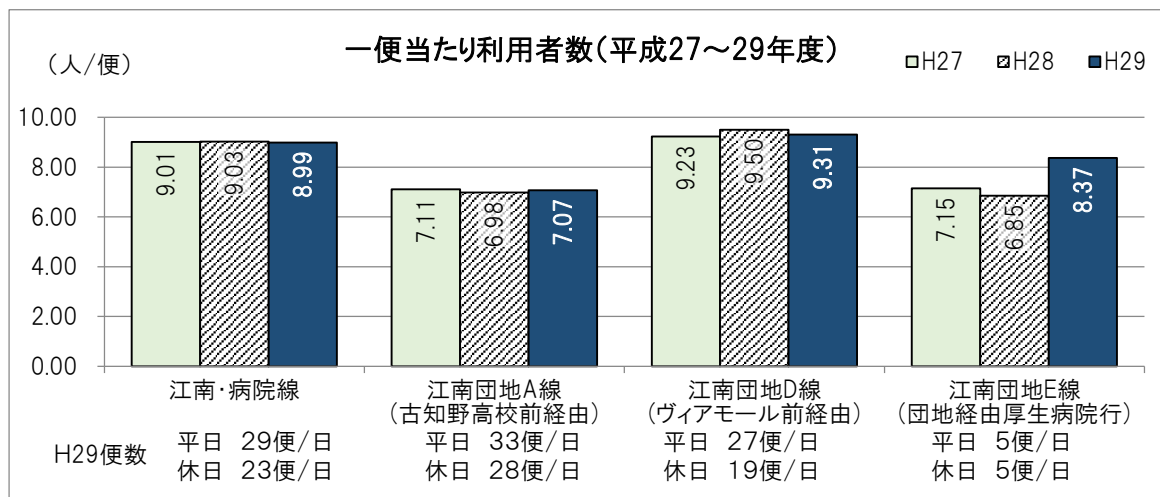
※3 H27ダイヤ改正概要: 江南団地E線の運行便数を20便/日(10往復)→10便/日(5往復)に変更。

※4 H29ダイヤ改正概要: 平日朝の3便を、江南団地A線→江南団地D線に振替、江南団地E線の江南駅始発を8:26→8:18に変更。

#### 2) 一便当たり利用者数(路線別)

平成29年度は、江南団地D線が、9.31人/便と最も高く、次いで江南・病院線が8.99人/便となっている。

平成27年度から28年度にかけて江南団地A線は0.13人/便の減、江南団地D線は0.27人/便の増、江南団地E線は0.3人/便の減だったが、ダイヤ改正に伴って便数または始発時刻が変更となったため、平成28年度から29年度にかけては、江南団地A線は0.09人/便の増、江南団地D線は0.19人/便の減、江南団地E線は1.52人/便の増となった。



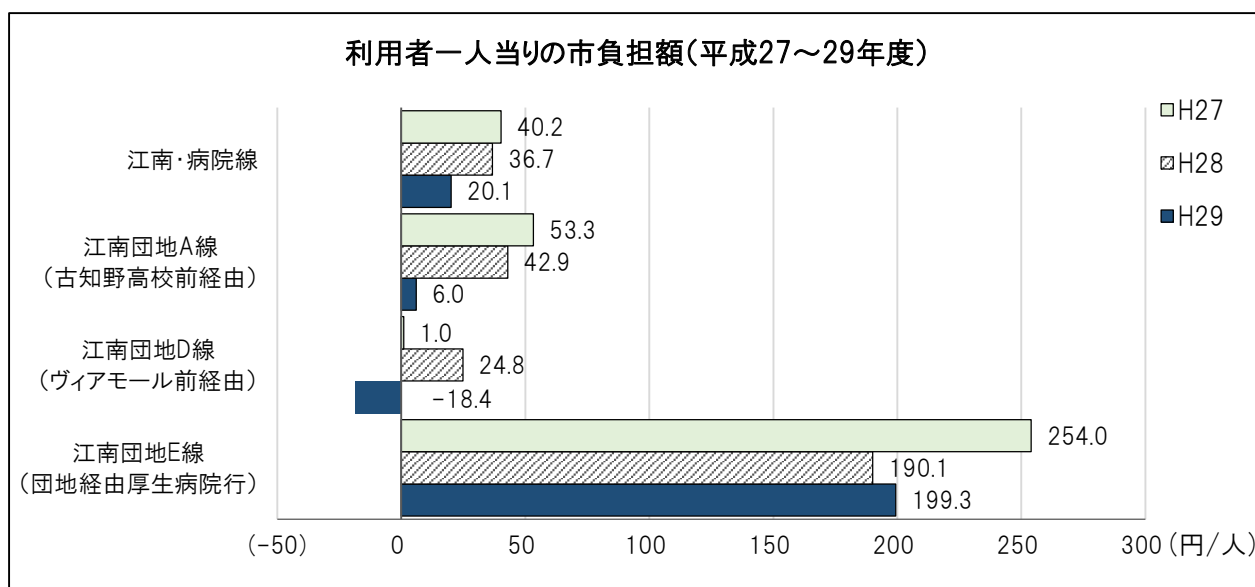
利用者数・利用状況(路線・年度別 4月-3月)

区分	H27			H28			H29		
	利用者 (人)	便数 (便)	利用率 (人/便)	利用者 (人)	便数 (便)	利用率 (人/便)	利用者 (人)	便数 (便)	利用率 (人/便)
江南・病院線	175,487	19,478	9.01	175,655	19,448	9.03	174,819	19,448	8.99
江南団地A線(古知野高校前経由)	167,934	23,629	7.11	164,611	23,586	6.98	161,734	22,860	7.07
江南団地D線(ヴィアモール前経由)	153,980	16,675	9.23	158,248	16,651	9.50	161,820	17,377	9.31
江南団地E線(団地経由厚生病院行)	39,279	5,490	7.15	24,999	3,650	6.85	30,545	3,650	8.37
計	536,680	65,272	8.22	523,513	63,335	8.27	528,918	63,335	8.35

3)利用者一人当たりの市負担額(路線別補助額)

平成29年度は、江南団地E線が最も多く、利用者一人当たり199.3円の補助となっている一方、江南団地D線は一人当たりの市負担額は発生しなかった。

平成29年度は、補助金算定上の特殊要因<sup>※5</sup>のため、平成28年度と比較して補助額全体が減少し、併せて利用者一人当たりの補助額も減少している。



※5 OD調査(起終点調査)実施日の天候不良に伴う利用者増

利用者一人当たりの市負担額(補助年度別補助額 補助期間:10月-9月)

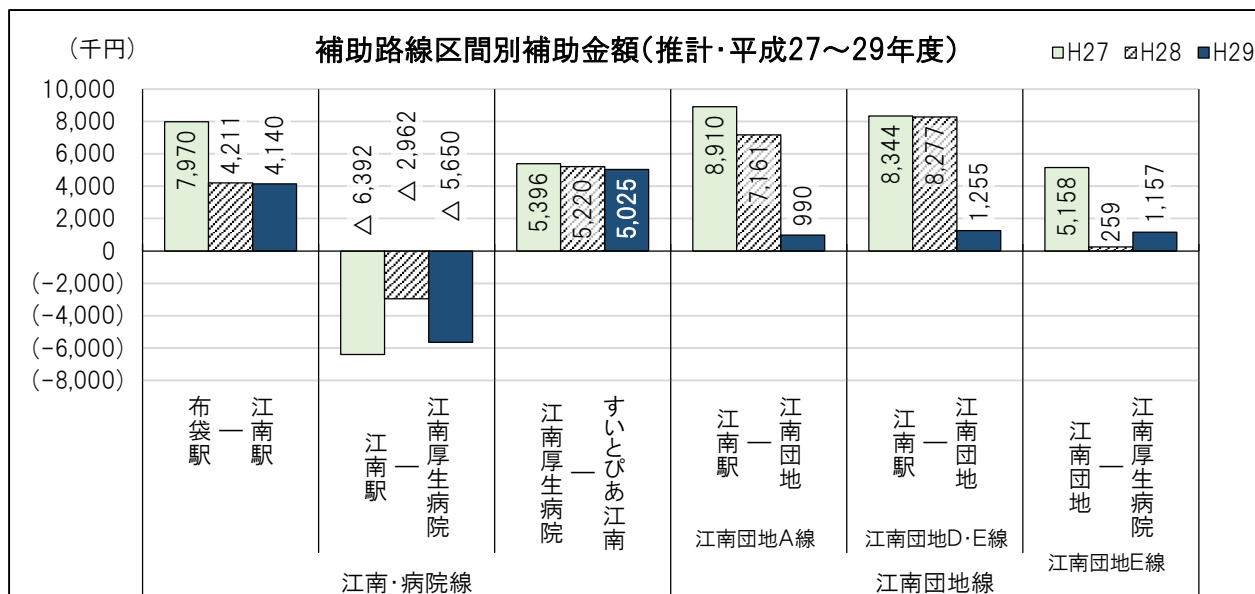
区分	H27			H28			H29		
	利用者数 (人)	補助額 (円)	一人当りの補助額 (人/円)	利用者数 (人)	補助額 (円)	一人当りの補助額 (人/円)	利用者数 (人)	補助額 (円)	一人当りの補助額 (人/円)
江南・病院線	173,380	6,974,000	40.2	176,574	6,472,000	36.7	174,598	3,515,000	20.1
江南団地A線(古知野高校前経由)	167,262	8,910,000	53.3	166,780	7,160,000	42.9	163,943	990,000	6.0
江南団地D線(ヴィアモール前経由)	151,381	154,000	1.0	154,591	3,828,000	24.8	162,684	△2,998,000	△18.4
江南団地E線(団地経由厚生病院行)	52,553	13,348,000	254.0	24,758	4,706,000	190.1	27,150	5,410,000	199.3
計	544,576	29,386,000	54.0	522,703	22,166,000	42.4	528,375	6,917,000	13.1



#### 4)補助路線区間別補助金額(推計)

平成29年度は、江南・病院線の江南厚生病院-すいとぴあ江南の間が5,025千円と最も多く、次いで布袋駅-江南駅の間が4,140千円となっている。

平成28年度から29年度にかけて、特殊要因<sup>※5</sup>により補助金額が減少したが、江南団地-江南厚生病院間は898千円増加している。



※5 OD調査(起終点調査)実施日の天候不良に伴う利用者増

#### 補助路線区間別補助金額

(単位:千円)

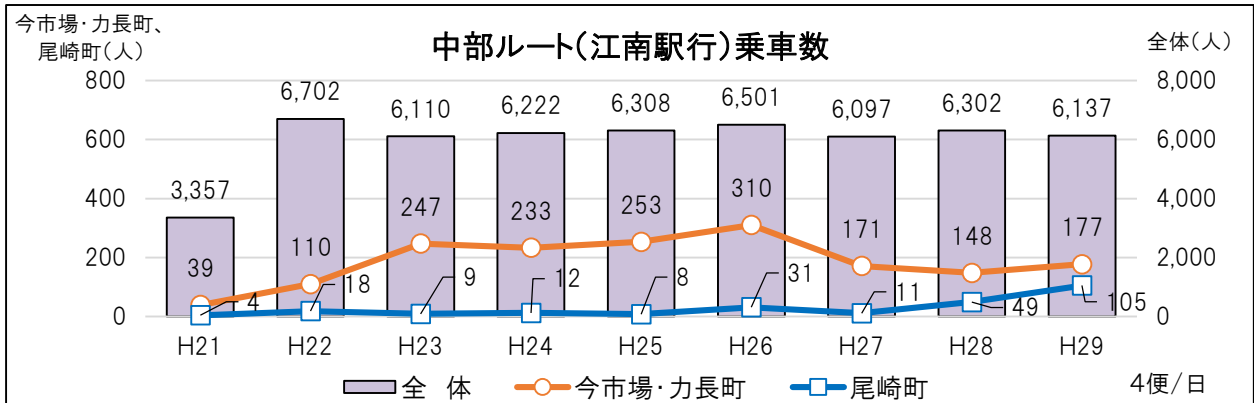
路線	区間	H27	H28	H29
江南・病院線	江南駅-布袋駅	7,970	4,211	4,140
	江南駅-江南厚生病院	△6,392	△2,962	△5,650
	江南厚生病院-すいとぴあ江南	5,396	5,220	5,025
江南団地線	江南駅-江南団地(江南団地A線)	8,910	7,161	990
	江南駅-江南団地(江南団地D・E線)	8,344	8,277	1,255
	江南団地-江南厚生病院(江南団地E線)	5,158	259	1,157

## 4. 大口町コミュニティバス（毎日運行便）利用状況

### 1) 中部ルート(江南駅行)

平成29年度は、市内停留所の乗降者数が3,676人で、前年と比較し、36人の増となった。

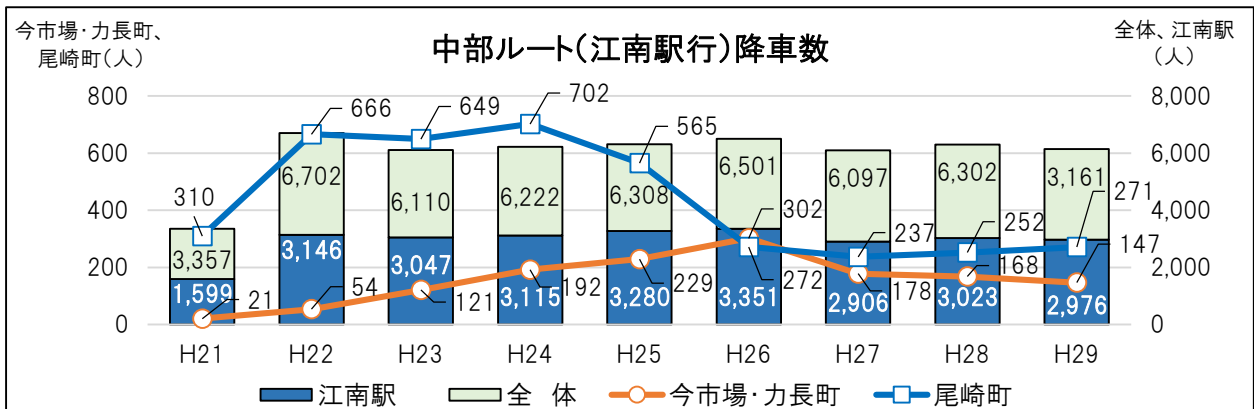
平成29年4月に停留所の位置を変更した尾崎町は、江南駅行の乗車数が105人で、前年と比較し56人の増となっている。



中部ルート 江南駅行(乗車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
今市場・力長町	39	110	247	233	253	310	171	148	177
尾崎町	4	18	9	12	8	31	11	49	105
江南駅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全体	3,357	6,702	6,110	6,222	6,308	6,501	6,097	6,302	6,137



中部ルート 江南駅行(降車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
今市場・力長町	21	54	121	192	229	302	178	168	147
尾崎町	310	666	649	702	565	272	237	252	271
江南駅	1,599	3,146	3,047	3,115	3,280	3,351	2,906	3,023	2,976
全体	3,357	6,702	6,110	6,222	6,308	6,501	6,097	6,302	6,137

乗降者数合計 中部ルート(江南駅行)

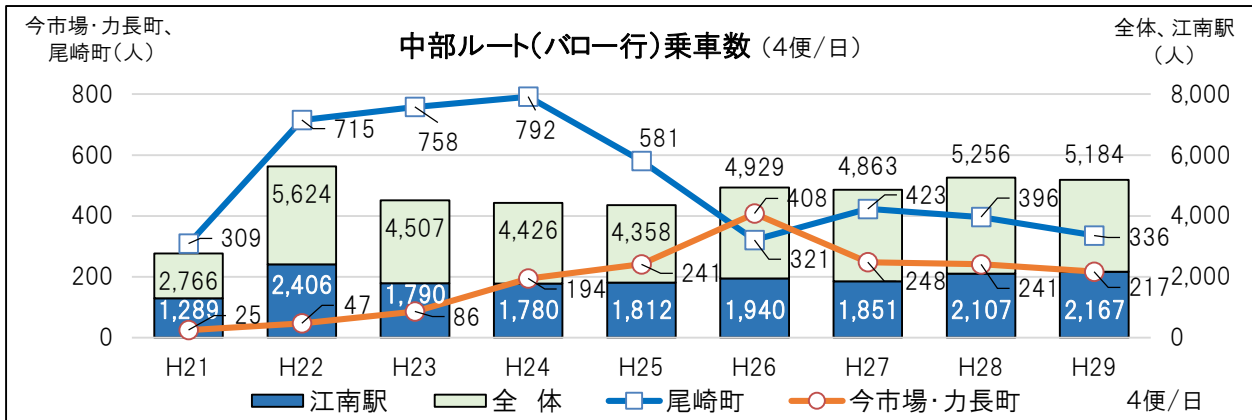
(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
今市場・力長町	60	164	368	425	482	612	349	316	324
尾崎町	314	684	658	714	573	303	248	301	376
江南駅	1,599	3,146	3,047	3,115	3,280	3,351	2,906	3,023	2,976
計	1,973	3,994	4,073	4,254	4,335	4,266	3,503	3,640	3,676

## 2) 中部ルート(パロー行)

平成29年度は、市内停留所の乗降者数が2,874人で、前年と比較し、13人の減となった。

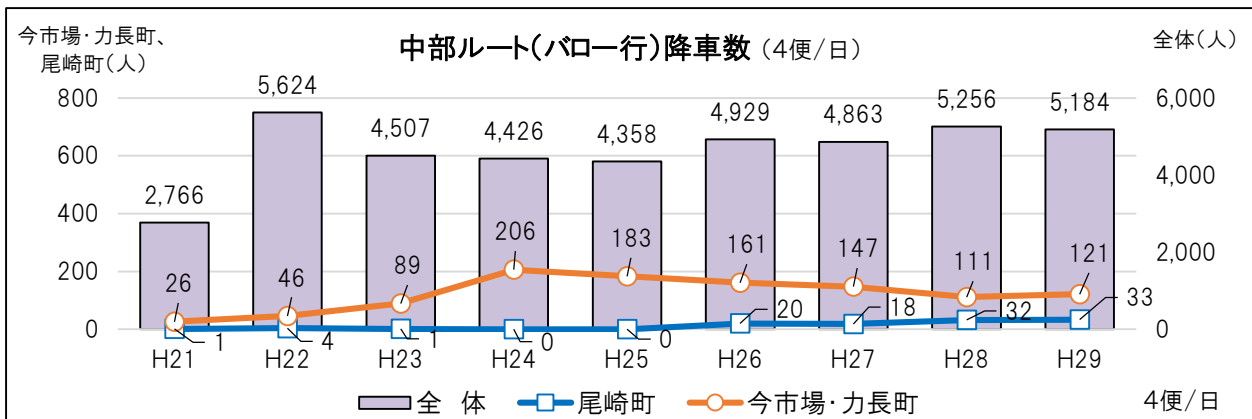
平成29年4月に停留所の位置を変更した尾崎町は、パロー行の乗車数が336人で、前年と比較し60人の減となっている。



中部ルート パロー行(乗車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
江南駅	1,289	2,406	1,790	1,780	1,812	1,940	1,851	2,107	2,167
尾崎町	309	715	758	792	581	321	423	396	336
今市場・力長町	25	47	86	194	241	408	248	241	217
全体	2,766	5,624	4,507	4,426	4,358	4,929	4,863	5,256	5,184



中部ルート パロー行(降車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
江南駅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
尾崎町	1	4	1	0	0	20	18	32	33
今市場・力長町	26	46	89	206	183	161	147	111	121
全体	2,766	5,624	4,507	4,426	4,358	4,929	4,863	5,256	5,184

乗降者数合計 中部ルート(パロー行)

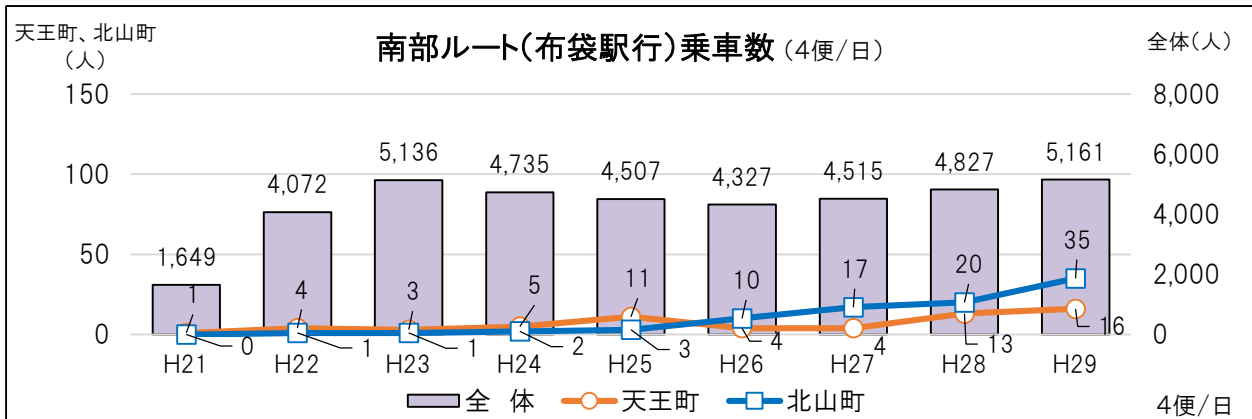
(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
江南駅	1,289	2,406	1,790	1,780	1,812	1,940	1,851	2,107	2,167
尾崎町	310	719	759	792	581	341	441	428	369
今市場・力長町	51	93	175	400	424	569	395	352	338
計	1,650	3,218	2,724	2,972	2,817	2,850	2,687	2,887	2,874

### 3)南部ルート(布袋駅行)

平成29年度は、市内停留所の乗降者数が3,822人で、前年と比較し、151人の増となった。

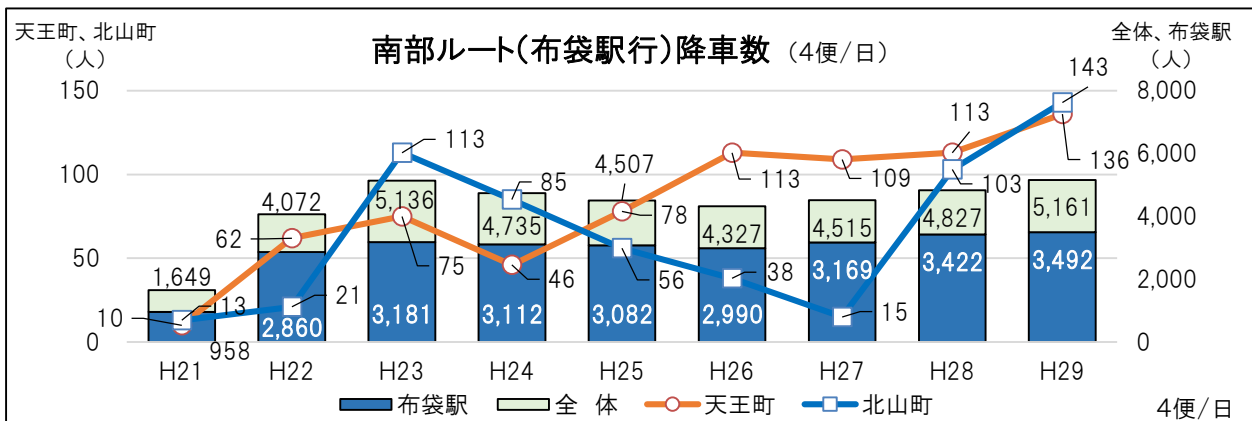
天王町の乗車が16人、北山町の乗車が35人と布袋駅へ向かう利用者は少ないものの、大口町からの降車は天王町が136人、北山町が143人と市外から市内の利用が、市内から布袋駅の利用を上回っている。



南部ルート 布袋駅行(乗車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
天王町	1	4	3	5	11	4	4	13	16
北山町	0	1	1	2	3	10	17	20	35
布袋駅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全体	1,649	4,072	5,136	4,735	4,507	4,327	4,515	4,827	5,161



南部ルート 布袋駅行(降車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
天王町	10	62	75	46	78	113	109	113	136
北山町	13	21	113	85	56	38	15	103	143
布袋駅	958	2,860	3,181	3,112	3,082	2,990	3,169	3,422	3,492
全体	1,649	4,072	5,136	4,735	4,507	4,327	4,515	4,827	5,161

乗降者数合計 南部ルート(布袋駅行)

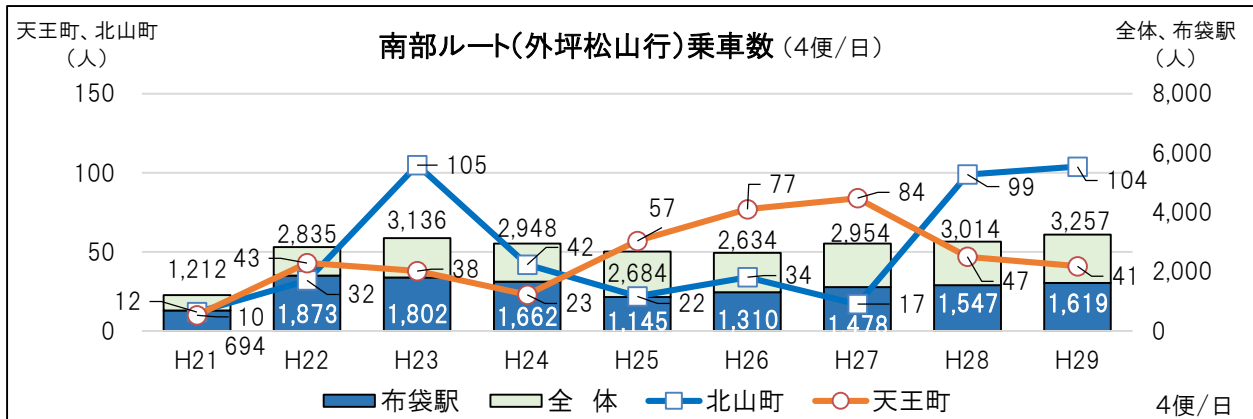
(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
天王町	11	66	78	51	89	117	113	126	152
北山町	13	22	114	87	59	48	32	123	178
布袋駅	958	2,860	3,181	3,112	3,082	2,990	3,169	3,422	3,492
計	982	2,948	3,373	3,250	3,230	3,155	3,314	3,671	3,822

#### 4)南部ルート(外坪松山行)

平成29年度は、市内停留所の乗降者数が1,799人で、前年と比較し、40人の増となった。

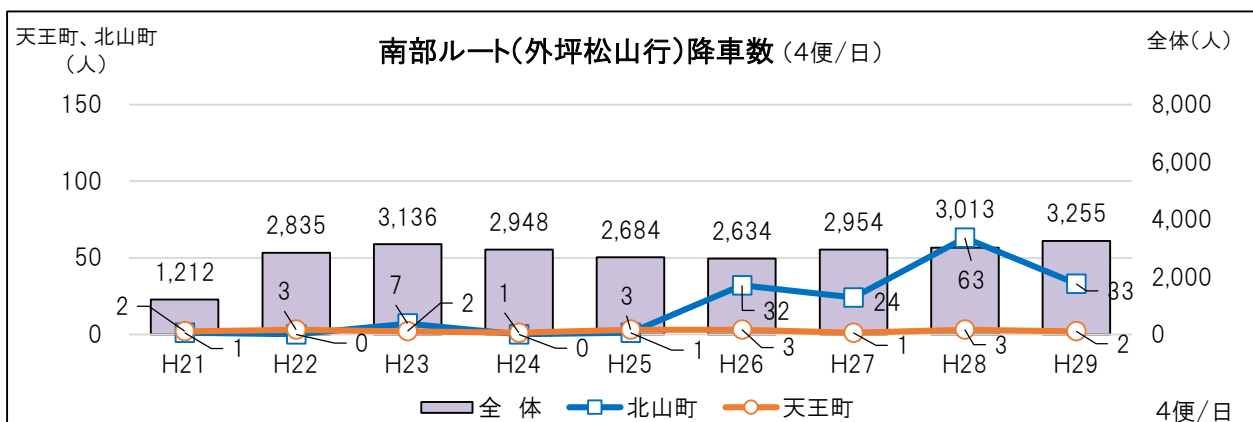
北山町の降車が33人、天王町の降車が2人と布袋駅から市内の利用者は少ないものの、大口町へ向かう乗車は北山町が104人、天王町が41人と、市内から市外の利用が、布袋駅から市内の利用を上回っている。



南部ルート 外坪松山行(乗車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
布袋駅	694	1,873	1,802	1,662	1,145	1,310	1,478	1,547	1,619
北山町	12	32	105	42	22	34	17	99	104
天王町	10	43	38	23	57	77	84	47	41
全体	1,212	2,835	3,136	2,948	2,684	2,634	2,954	3,014	3,257



南部ルート 外坪松山行(降車数)

(単位:人)

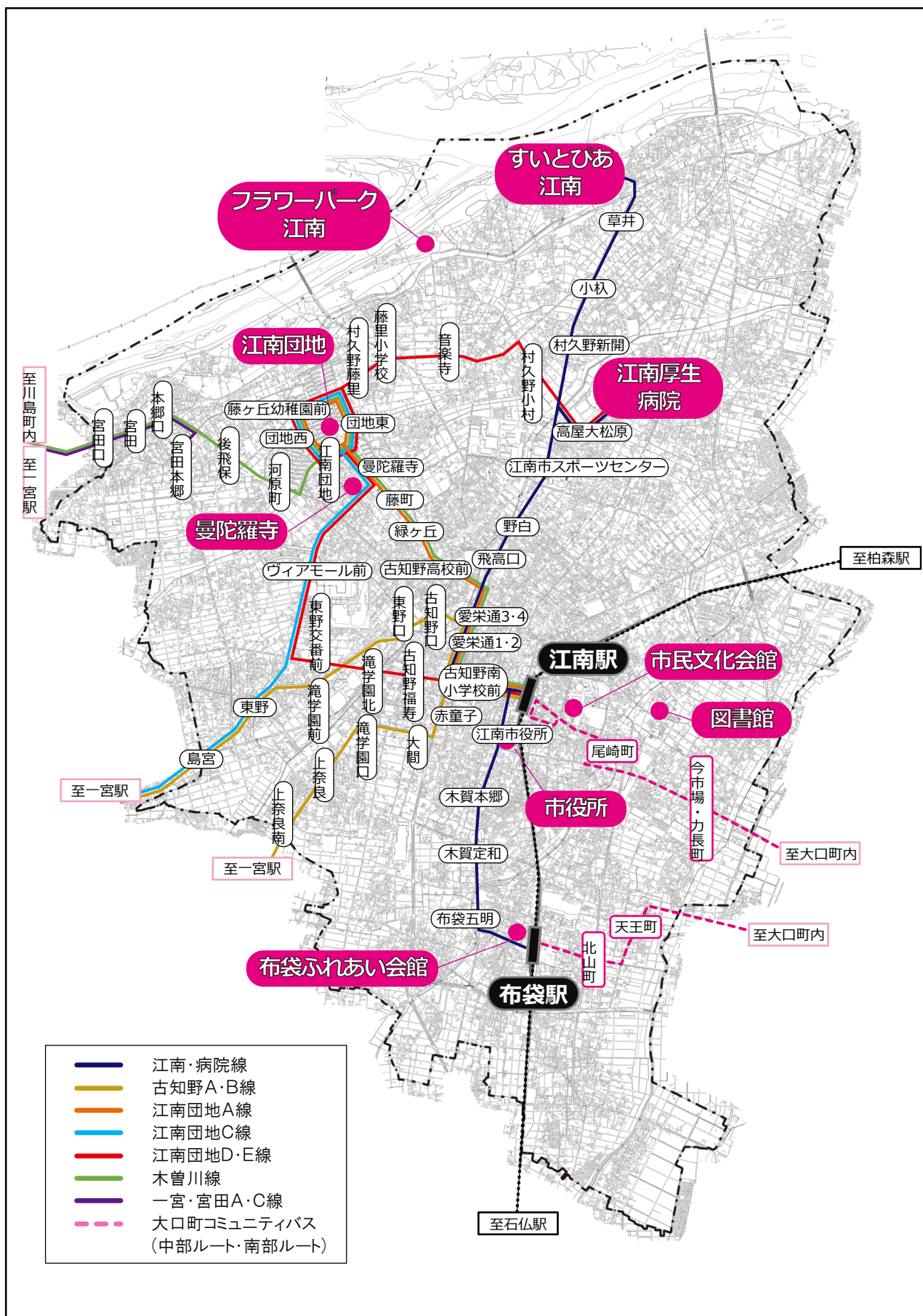
停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
布袋駅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北山町	1	0	7	0	1	32	24	63	33
天王町	2	3	2	1	3	3	1	3	2
全体	1,212	2,835	3,136	2,948	2,684	2,634	2,954	3,013	3,255

乗降者数合計 南部ルート(外坪松山行)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
布袋駅	694	1,873	1,802	1,662	1,145	1,310	1,478	1,547	1,619
北山町	13	32	112	42	23	66	41	162	137
天王町	12	46	40	24	60	80	85	50	43
計	719	1,951	1,954	1,728	1,228	1,456	1,604	1,759	1,799

## 5. 江南市内のバス路線・停留所





平成29年度  
江南市地域公共交通  
(いこまいCAR・バス)  
の利用状況

平成30年7月

愛知県江南市  
都市整備部都市計画課



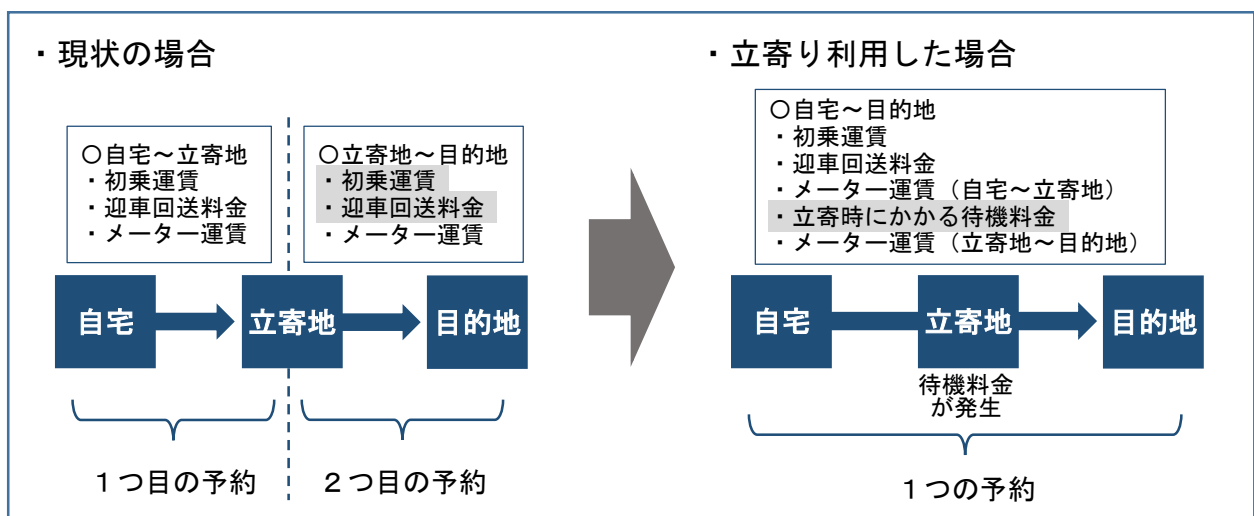
## ■いこまいCAR（予約便）の立寄り利用について

### 1. 内容

現在、いこまいCARで、目的地の前に立寄地がある場合は、1か所ごとに予約を取って利用することとなっており、料金の支払いを予約ごとに行うため、立寄地から目的地に行く際は再度、迎車回送料金と初乗運賃がかかる仕組みとなっている。

立寄地での用事が短時間で終わる場合、タクシー車両を待機させることができないかとの要望があったため、対応を検討する。

### ○利用イメージ図



### 2. 想定される立寄りのケース

いこまいCARであるため、立寄りについても予約時に申し出ることとする。そのうえで、以下のケースを想定。

- ・ コンビニエンスストア等で軽微な買い物をしてから目的地に向かう
- ・ 知人宅まで迎えに行き目的地まで相乗りをする
- ・ 家族を駅まで迎えに行き自宅まで送迎する

### 3. 立寄り実施に伴うメリット・デメリット

#### メリット

- ・ 出発直後や目的地の直前の利用について、立寄地から再度乗車する際は迎車回送料金と初乗運賃がかからない【利用者】
- ・ 短時間であれば現状の利用方法よりもメーター運賃が安くなる【利用者・市】
- ・ 通常のタクシーでも立寄り利用ができるため、事業者の対応が可能【事業者】

#### デメリット

- ・ 現状の利用方法よりもメーター運賃が高くなる場合がある【利用者・市】  
→ 待機時間もタクシーメーターは上がるので、時間に応じた待機料金がかかる
- ・ 利用パターンが増えるため、利用方法が分かりにくくなる【利用者】